

「希望」の花を みんなに届けたい



あぶくまカッ
フラワーグル
ープ

菅野
愛^{あい}
さん

もともと東京に住んでいましたが、夫婦で話し合い、自然に囲まれた場所で子育てがしたいという思いと夫の実家の農業を継ぎたいという気持ちから2010年に川俣町でトルコギキョウの栽培を始めました。昼夜の寒暖差が大きい山木屋で栽培するトルコギキョウは発色が良く、結婚式や贈り物にもぴったりです。「つらい」「汚い」といった農業のイメージを変えられるように、そして、トルコギキョウの花言葉である「希望」を川俣町の皆さんにも届けられるように、この町でトルコギキョウを育てていきたいと思っています。



受け継いだ伝統を 次の世代へ



有限会社 紺野機業場

紺野
峰夫^{みねお}
さん

5年前、97年続く機織会社の5代目の代表になり今年で102年目を迎えました。「文化（＝生活）に繋がるものづくり」をコンセプトに一般的な絹織物のほか、町内では唯一、掛軸などの伝統工芸品や提灯、若年層向けにイヤリングやピアスなどのアクセサリも作っています。

私たちがつくる製品の中には、町内で機織業を辞めていった方たちの技術、そして思いを受け継いで作っているものもあります。この受け継いだ技術と思いをこれからの世代へ繋ぐ架け橋になれるように、この町で機織を続けたいと思います。



この町で暮らす

あなたの周りにも輝く「川俣人」がいるかもしれません。職種はバラバラ。でも共通点が1つだけありました。それは町を想う気持ちです。町内で働く皆さんにお話を聞きました。

織物の良さや技術を 伝えていきたい



からりこ館

曾我 恵子^{けいこ}さん

嫁ぎ先で機織業をやっていたため、それまで培った知識や技術を役に立てることはできないかと考え、20年前にからりこ館で働くことを決意しました。

からりこ館では、絹織物の歴史や伝統技術の紹介に加え、機織りや染色に関する研修や体験学習を行っています。特に体験学習には町内外から多くの人を訪れ実際に手織りを行います。

多種多様な「もの」で溢れている今だからこそ手づくりしたものの良さを、自分で機織をすることの面白さを、皆さんに知っていただけるようにこれからも活動したいと思います。



日本の空にいつまでも 菊花型花火を



有限会社 菅野煙火店

菅野 俊宏^{としひろ}さん

明治中期に創業した菅野煙火店は、これまで「全国花火競技大会大曲の花火」や「伊勢神宮奉納全国花火」、「やつしろ全国花火競技大会」など全国の花火大会で花火を上げてきました。

そのような中、今年はコロナ禍で決して必需品ではない花火の在り方について考えさせられる年となりました。しかし、「全国一斉花火プロジェクト」を通して、多くの方が花火を楽しみにしてくれていることを実感し、来年こそ川俣夏の風物詩「からりこフェスタ」で皆さんが感動する花火を打ち上げられるように準備をしていきます。



変わりゆく時代の中で 変わらない味を作る



清川製菓製パン店

齋藤 利雄^{としお}さん

一度は川俣町を離れましたが「この店をなくしてはいけない」という思いから3代目として父の跡を継ぎました。時代とともに町内の商店街も変化してきましたが、そのような中でも「変わらない味を作り続け、食べてもらうこと」によって、川俣に住んでいる人だけではなく、川俣町に住んでいた人も川俣町のことを思い出すようなきっかけになればと思います。県外など遠くからパンを買い求めに来てくれる方や、毎週のように来てくれる常連のお客様の喜ぶ笑顔のためにもこれからも変わらないパンを作り続けていきます。

